

2025年6月19日

中国地域の経済動向

(2025年4月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は横ばい傾向、個人消費は緩やかな持ち直しの動きがみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で増加など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向・・・横ばい傾向

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・緩やかな持ち直しの動きがみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で増加4. 景況感・・・現状は前月に比べ上昇、先行きは低下

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で減少

6. 建設動向・・・公共工事は前年同月比で減少、住宅建設は前年同月比で増加7. 企業倒産・・・件数、負債総額とも前年同月比で増加

8. 設備投資・・・2025年度計画は前年度を上回る見込み

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。
※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

(本発表資料のお問合せ先)

総務企画部企画調査課長 中野 伸二

電話:082-224-5633

メール:bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

1. 生産動向 ～横ばい傾向～

(中国地域鉱工業生産動向 2025年4月 速報)

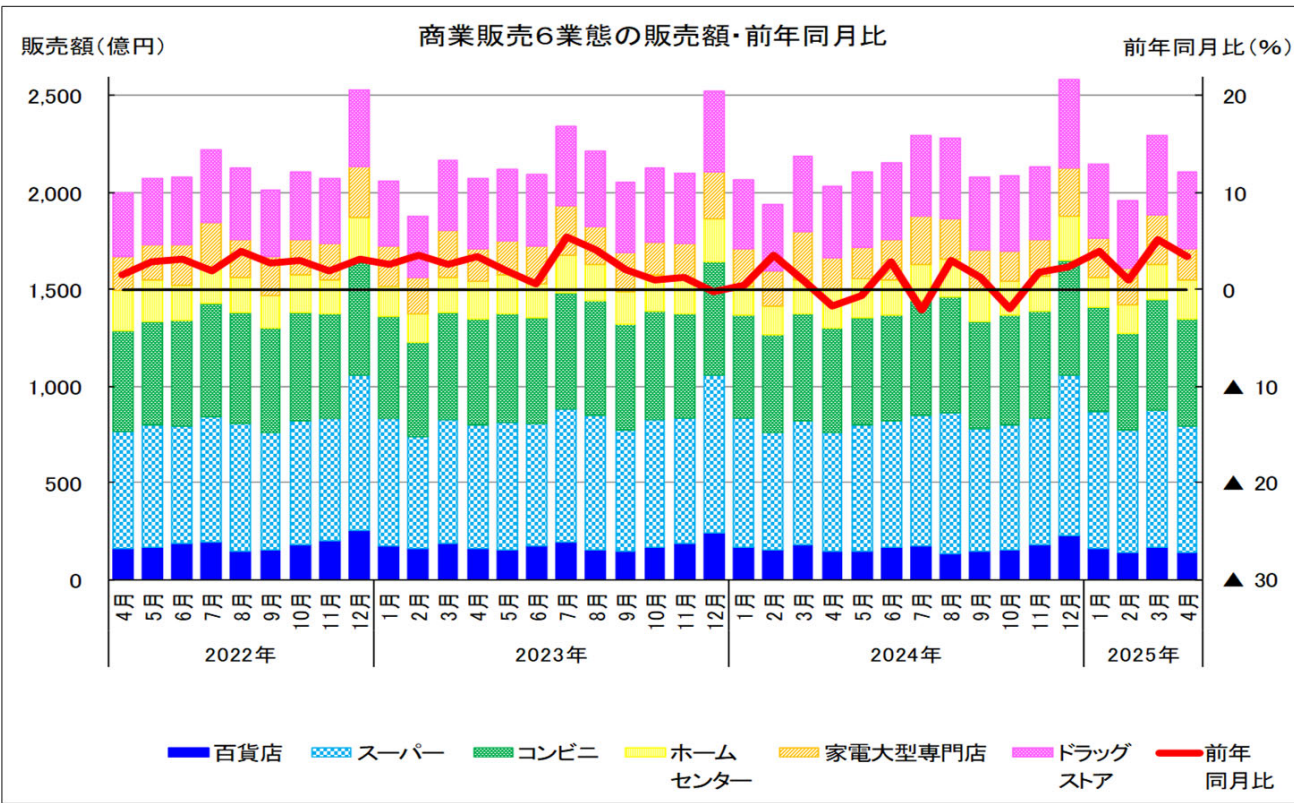
2025年4月の鉱工業生産指数は 99.9、前月比 1.2%の上昇となった(2020年＝100、季節調整済)。出荷は上昇、在庫は上昇、在庫率は低下となった。

2. 個人消費 ～緩やかな持ち直しの動きがみられる～

4月の商業6業態の販売額は2,105億円で、前年同月比3.4%と6か月連続で前年を上回った。
4月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車が前年同月を上回り、合計では前年同月比11.5%と4か月連続で前年を上回った。また、4月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比3.7%の上昇となった。

(1)商業6業態(4月)

(百万円)		(全店舗、%)	
(6業態に おける構成比)	販売額	前年同月比	(前月の 前年同月比)
6業態	210,486	3.4 6 か月連続 プラス	(5.1)
百貨店・スーパー (37.7%)	79,434	4.5 6 か月連続 プラス	(7.0)
百貨店 (6.5%)	13,748	▲ 5.4 20 か月連続 マイナス	(▲ 4.8)
スーパー (31.2%)	65,686	6.8 6 か月連続 プラス	(10.3)
コンビニエンスストア (26.2%)	55,238	2.1 2 か月連続 プラス	(2.9)
ホームセンター (9.6%)	20,119	0.8 2 か月連続 プラス	(1.0)
家電大型専門店 (7.9%)	16,525	2.6 6 か月連続 プラス	(4.1)
ドラッグストア (18.6%)	39,170	4.7 40 か月連続 プラス	(6.7)



- ・百貨店の販売額は137億円で、前年同月比▲5.4%と20か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は657億円で、前年同月比6.8%と6か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は552億円で、前年同月比2.1%と2か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンターの販売額は201億円で、前年同月比0.8%と2か月連続で前年を上回った。
- ・家電大型専門店の販売額は165億円で、前年同月比2.6%と6か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアの販売額は392億円で、前年同月比4.7%と40か月連続で前年を上回った。

(単位: 百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
2022年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
2023年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
2024年	197,780	▲ 6.4	12	800,298	0.9	330	670,147	0.6	3,056
2024年4月	14,527	▲ 10.4	12	61,479	▲ 3.3	328	54,118	▲ 1.3	3,050
5月	14,865	▲ 5.2	12	64,678	▲ 1.5	329	56,212	▲ 0.3	3,045
6月	16,684	▲ 4.8	12	65,326	3.8	330	54,873	▲ 0.3	3,044
7月	17,397	▲ 11.3	12	67,755	▲ 2.1	330	59,046	▲ 0.2	3,051
8月	13,685	▲ 10.7	12	72,539	4.3	330	60,278	1.0	3,053
9月	14,473	▲ 3.5	12	63,122	1.2	330	55,695	1.2	3,054
10月	15,470	▲ 8.1	12	64,509	▲ 2.1	329	56,940	1.0	3,056
11月	17,839	▲ 5.7	12	66,307	2.5	329	54,598	1.7	3,056
12月	22,727	▲ 5.2	12	83,319	1.5	330	59,325	2.1	3,056
2025年1月	16,022	▲ 5.1	12	70,946	5.9	336	53,899	2.1	3,052
2月	14,048	▲ 8.9	12	63,348	5.4	336	50,265	▲ 1.3	3,060
r 3月	16,953	▲ 4.8	12	70,783	10.3	336	56,906	2.9	3,054
p 4月	13,748	▲ 5.4	12	65,686	6.8	336	55,238	2.1	3,048

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
2022年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
2023年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
2024年	218,856	▲ 0.3	402	239,785	▲ 0.9	176	468,122	5.8	1,045	2,594,988	0.8
2024年4月	19,954	▲ 0.3	403	16,112	▲ 3.0	176	37,402	4.2	1,027	203,592	▲ 1.7
5月	19,849	0.2	403	16,241	▲ 7.6	176	38,552	5.2	1,030	210,397	▲ 0.6
6月	18,196	2.2	403	21,021	10.6	176	39,118	6.0	1,029	215,218	2.9
7月	18,999	▲ 3.6	403	24,469	▲ 4.9	176	41,691	2.3	1,032	229,357	▲ 2.1
8月	19,270	5.4	403	20,735	5.7	176	41,715	6.8	1,036	228,222	3.0
9月	16,828	1.5	403	19,968	0.3	176	37,822	3.7	1,038	207,907	1.2
10月	17,272	▲ 8.0	400	15,664	▲ 5.3	174	38,800	1.5	1,038	208,656	▲ 1.9
11月	18,061	0.9	401	19,028	1.9	176	37,818	4.6	1,038	213,651	1.7
12月	22,387	0.2	402	24,695	0.8	176	45,938	10.6	1,045	258,390	2.3
2025年1月	15,411	2.1	401	20,055	3.6	176	38,632	8.1	1,047	214,965	3.9
2月	14,674	▲ 2.0	400	18,690	4.4	176	34,952	0.6	1,051	195,978	1.0
r 3月	18,150	1.0	402	25,601	4.1	176	41,413	6.7	1,059	229,806	5.1
p 4月	20,119	0.8	404	16,525	2.6	176	39,170	4.7	1,057	210,486	3.4

注1: p は速報値、rは確報値。ただし、2024年分は年間補正値。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

参考：広島市の気温

対平年+ 0.7℃ 対前年▲2.0℃

★★2025年4月の動き（各店舗の声から）★★

【百貨店】

前年と比べて気温が低く来店客数が減少したほか、春物や初夏物の衣料品、靴、化粧品などが低調だった。また、飲食料品は価格上昇により菓子や鮮魚が振るわなかった。そのほか、前年の反動でアクセサリや金製品が低調だった。

【スーパー】

価格上昇により米の売上が増加したほか、割安感でパンが好調だった。また、花見需要で弁当や天ぷらなどの揚げ物に良い動きがみられた。そのほか、値上げ前の駆け込み需要でトイレトペーパーなどの紙製品が好調だった。

【コンビニエンスストア】

販売促進効果や新商品効果でおにぎり、パンが好調だったほか、行楽需要もあり菓子、飲料が好調だった。一方、値上げの影響により酒類が低調だった。

【ホームセンター】

価格上昇により米の売上が増加した。また、販売促進効果により紙製品や洗剤が好調だった。そのほか、前年と比べて気温が低く、灯油が好調だった一方、衣替えが進まず防虫剤が低調だった。

【家電大型専門店】

販売促進効果によりエアコン、携帯電話が好調だったほか、新生活需要によりパソコンが好調だった。一方、冷蔵庫や洗濯機の動きが鈍かった。

【ドラッグストア】

価格上昇により米の売上が増加したほか、花粉症対策の鼻炎薬、目薬に引き続き動きがみられた。また、前年の反動でサプリメントや栄養補助食品などの健康食品が好調だった。一方、前年より気温が低く殺虫剤が低調だった。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	1月	2月	3月	4月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 5.9	15.5	▲ 8.7	1.2	▲ 1.2	18.8	20.1	23.0	14.6	11.5
	普通乗用車							14.7	7.2	2.8	2.6
	小型乗用車							27.3	49.7	35.9	17.3
	軽乗用車							22.4	29.3	19.4	18.3
	全国	▲ 6.2	15.8	▲ 6.7	1.2	▲ 3.2	14.0	15.0	18.9	9.5	11.0

(中国運輸局資料をもとに当局作成)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	1月	2月	3月	4月
消費者物価指数	中国	2.4	3.1	2.4	2.6	2.6	3.3	3.3	3.1	3.5	3.7
	全国	2.3	3.1	2.5	2.6	2.6	3.1	3.2	3.0	3.2	3.5

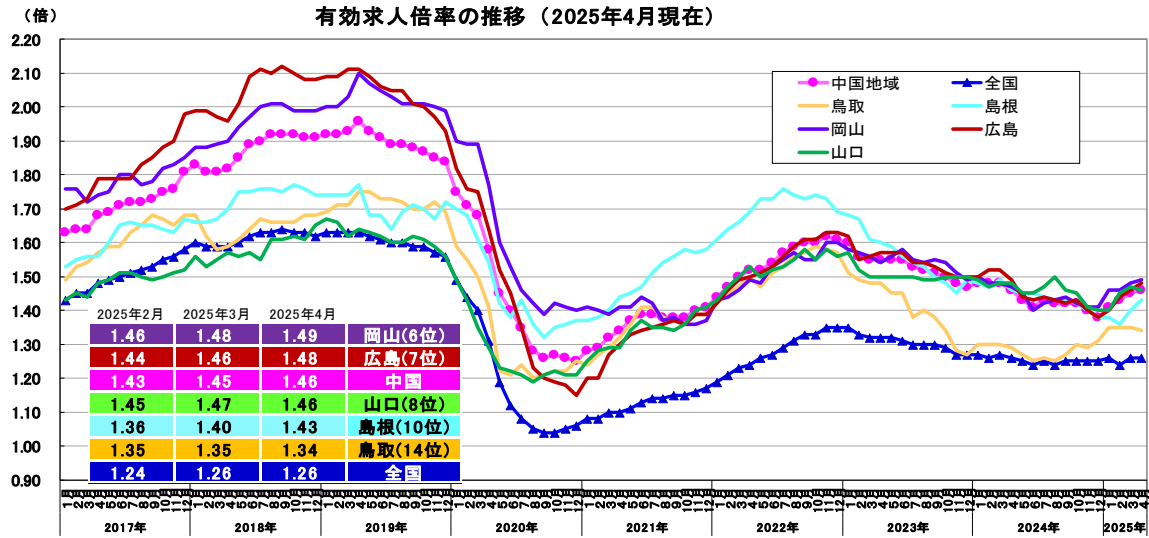
(資料 総務省 ※中国地域四半期は当局計算値)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で増加～

4月の有効求人倍率は、1.46倍で前月の値を0.01ポイント上回り、4か月連続の上昇となった。また、新規求人数(原数値)は、前年同月比3.2%で6か月ぶりの増加となった。

		2022年	2023年	2024年	2024年 7-9月	10-12月	2025年 1-3月	2025年 1月	2月	3月	4月
有効求人倍率※ ¹	中国	1.55	1.53	1.43	1.42	1.40	1.43	1.41	1.43	1.45	1.46
	全国	1.28	1.31	1.25	1.24	1.25	1.25	1.26	1.24	1.26	1.26
新規求人数	中国	63,735	62,265	58,634	57,141	58,431	59,851	63,414	59,074	57,064	59,006
		10.8	▲ 2.3	▲ 5.8	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 3.7	▲ 1.8	▲ 4.9	▲ 4.6	3.2
上段：人(原数値)	全国	866,369	866,937	836,071	814,174	837,457	851,359	907,161	840,398	806,519	839,759
下段：前年(同期・同月)比%		10.8	0.1	▲ 3.6	▲ 3.8	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 0.4	▲ 5.9	▲ 3.0	2.2
完全失業率※ ²	中国	2.2	2.1	2.2	2.1	2.0	2.5	—	—	—	—
	全国	2.6	2.6	2.5	2.6	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5	2.5

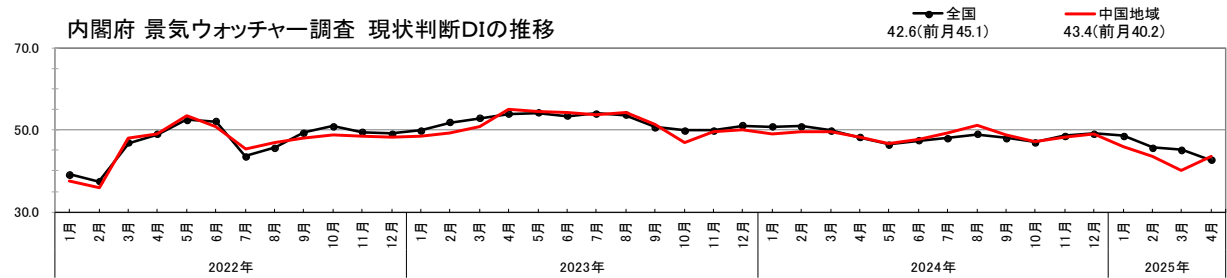
(資料：厚生労働省、総務省 ※有効求人倍率の中国地域年・四半期、新規求人数の中国地域、新規求人数全国前期比は当局計算値)



(資料：厚生労働省)

4. 景況感 ～現状は前月に比べ上昇、先行きは低下～

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和7年4月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI(方向性)は43.4となり、前月差3.2ポイントの上昇となった。
2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは40.0となり、同2.3ポイントの低下となった。



(資料：内閣府)

※¹ 年は原数値。月、四半期は季節調整値。年、四半期は平均。

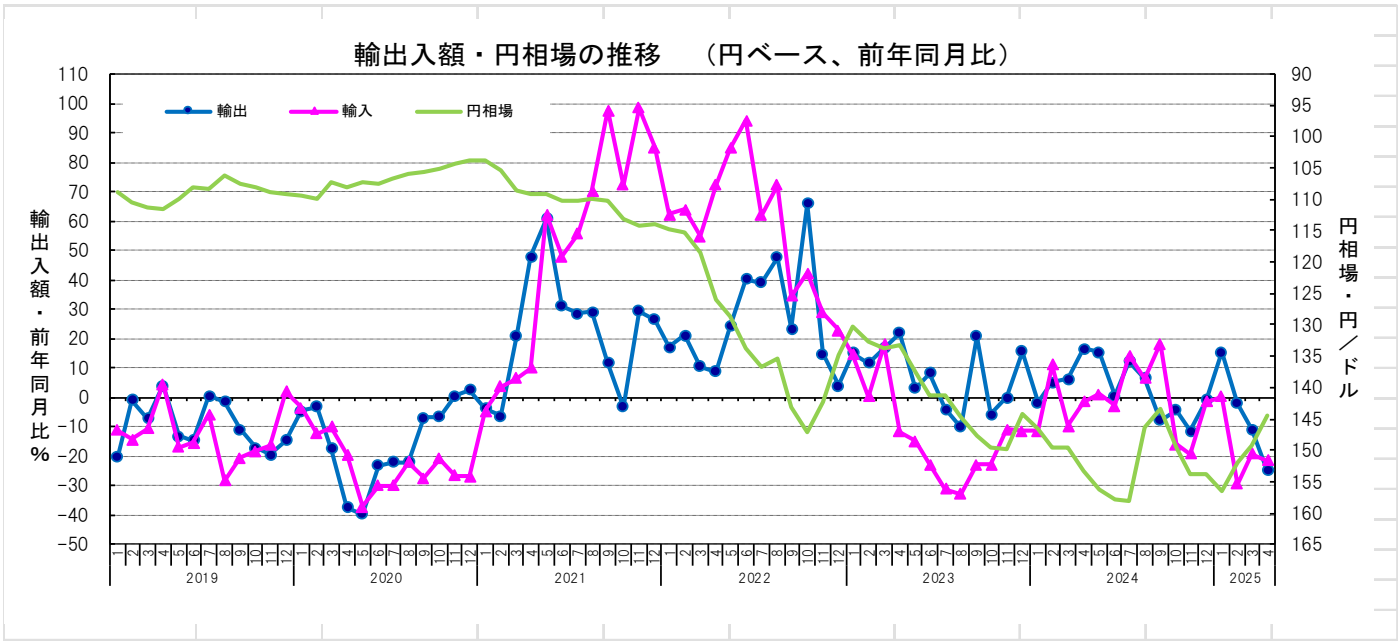
※² 年、四半期は原数値。月は季節調整値

5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で減少～

4月の輸出は、前年同月比▲24.9%と3か月連続で前年を下回った。品目別では、自動車、半導体等製造装置などが前年を下回った。地域別では、北米、アジア向けなどが前年を下回った。
4月の輸入は、前年同月比▲21.5%と3か月連続で前年を下回った。品目別では、金属鉱及びくず、石炭などが前年を下回った。

			(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)※4									
			2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
						7-9月	10-12月	1-3月	1月	2月	3月	4月
輸出	総合	中国地域	25.3	6.9	2.7	3.2	▲ 5.4	▲ 0.4	15.4	▲2.1	▲11.0	▲24.9
		全国	18.2	2.7	6.2	4.5	3.2	7.4	7.3	11.4	4.0	2.0
	自動車(中国地域)※3		18.9	34.2	▲ 3.2				18.3	8.7	▲13.3	▲42.6
	鉄鋼(中国地域)※3		36.3	▲ 12.9	▲ 5.0				1.2	▲12.6	▲18.7	▲3.5
輸入	総合	中国地域※3	55.1	▲ 14.0	▲ 1.8	12.9	▲ 12.1	▲ 16.2	0.1	▲29.5	▲19.3	▲21.5
		全国※3	39.6	▲ 6.8	2.0	6.8	▲ 0.5	5.9	16.3	▲0.7	1.9	▲2.2
	原粗油(中国地域)※3		79.0	▲ 23.4	▲ 20.9				▲13.5	▲35.4	▲42.7	▲40.7
	石炭(中国地域)※3		182.5	▲ 21.8	▲ 19.8				▲19.5	▲17.2	▲26.4	▲30.4
為替※5		円／ドル	131.38	140.48	151.48	149.22	152.36	152.54	156.49	151.96	149.18	144.39

(資料：財務省、日本銀行 ※四半期、中国地域の品目は当局計算値)



※3 月次は速報値。
※4 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。
※5 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事は前年同月比で減少、住宅建設は前年同月比で増加～

4月の中国地域の公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、県、市町村、その他公共的団体すべてで前年を下回った。合計では前年同月比▲21.9%と2か月ぶりに前年を下回った。

4月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲住宅で前年を下回ったものの、給与住宅で前年を上回った。合計では前年同月比7.5%と2か月連続で前年を上回った。

		(前年同月(期)比%)									
		2022年度	2023年度	2024年度	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	1月	2月	3月	4月
公共工事請負金額	中国	▲ 0.3	8.8	0.4	▲ 13.0	▲ 10.0	12.3	▲ 9.2	▲ 26.7	46.1	▲ 21.9
	全国	▲ 0.4	5.3	3.2	2.2	1.2	▲ 3.6	▲ 1.3	▲ 22.5	6.0	12.0
新設住宅着工戸数 ^{※6}	中国	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 3.8	▲ 7.2	4.4	3.9	▲ 16.6	▲ 12.4	39.3	7.5
	全国	▲ 0.6	▲ 7.0	2.0	▲ 2.0	▲ 2.4	13.1	▲ 4.6	2.4	39.1	▲ 26.6

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))「新設住宅着工戸数」(国土交通省)
※公共工事請負金額・新設住宅着工戸数の四半期は当局計算値)

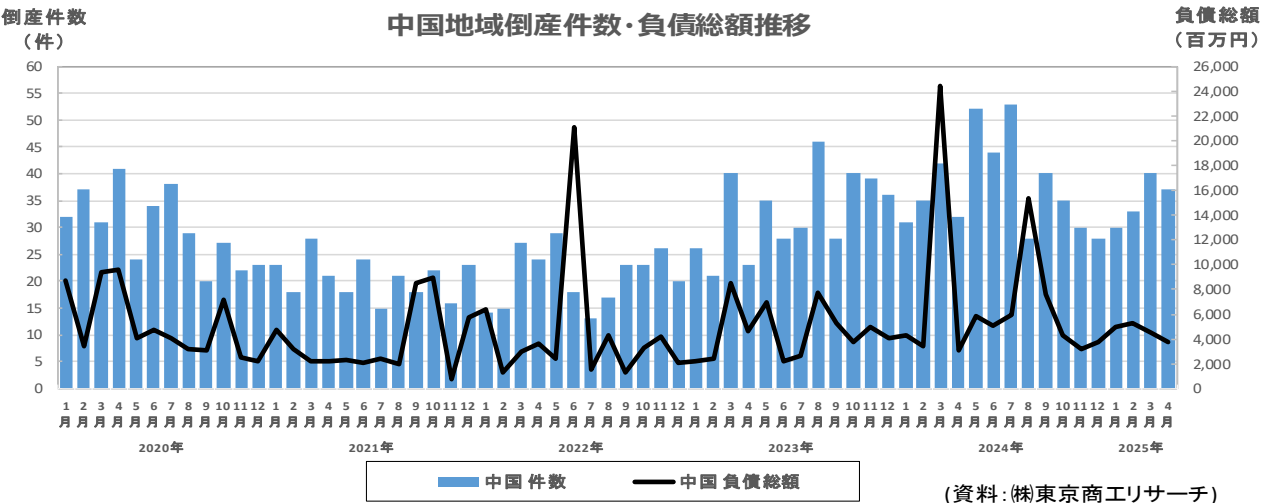
7. 企業倒産 ～件数、負債総額とも前年同月比で増加～

4月の企業倒産件数は37件で、前年同月比15.6%と7か月ぶりに前年を上回った。また、負債総額は37億4,300万円で、前年同月比21.8%と2か月ぶりに前年を上回った。

業種別にみると、建設業が12件、小売業が11件、サービス業他が5件などとなった。原因別にみると、販売不振が29件、過小資本が5件、既往のシワ寄せが3件となった。

		(前年同月(期)比%)									
		2022年	2023年	2024年	2024年		2025年	2025年			
					7-9月	10-12月	1-3月	1月	2月	3月	4月
企業倒産件数	中国	0.8	57.4	14.8	16.3	▲ 19.1	▲ 4.6	▲ 3.2	▲ 5.7	▲ 4.8	15.6
	全国	6.6	35.2	15.1	10.9	7.6	6.0	19.8	7.3	▲ 5.8	5.7
負債総額	中国	20.6	1.2	56.6	85.3	▲ 11.6	▲ 54.0	15.2	58.2	▲ 81.7	21.8
	全国	102.6	3.1	▲ 2.5	5.5	20.0	8.4	53.5	22.7	▲ 30.7	▲ 9.4

(資料:(株)東京商工リサーチ)



※6 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 ～2025年度計画は前年度を上回る見込み～

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2025年3月)によると、2025年度の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業が前年度比12.6%、非製造業が同▲0.9%となり、全産業では同5.7%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2025年3月調査)

設備投資額(含む土地投資額) (前年度比・%)

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 計画
中国	全産業	9.3	5.9	20.3	5.7
	製造業	2.5	3.1	12.5	12.6
	非製造業	18.3	8.9	28.7	▲ 0.9
全国	全産業	9.2	10.6	8.1	0.1
	製造業	9.0	6.7	11.6	5.4
	非製造業	9.3	12.8	6.2	▲ 2.9

(資料: 日本銀行、同広島支店)

